



SSIS 6 月度講演会

『 国際競争力における国家特殊優位の影響 』 — 半導体産業の投資における 日韓台の税制度について —

講師：立本 博文 氏

兵庫県立大学 経営学部 准教授

日時：6月13日(水) 17:30-19:20

会場：全林野会館 プラザ・フォレスト (東京・茗荷谷)

< 講演内容 >

1. 現状認識：経営学(技術経営)における日本の国際競争力の認識
2. 調査概要報告：半導体産業の事例
3. 各国の投資優遇制度の整理
4. コスト分析(制度由来のコストの推定)と解釈
5. 結論とメッセージ(その後、討論)

< 講演要旨 >

企業の国際競争力は、企業独自の競争力とともに、その企業が置かれている産業環境の影響を考える必要がある。産業環境由来の競争力のことを、国家特殊優位(もしくは立地優位)と経営学では呼ぶ。天然資源や安価な労働力は典型的な国家特殊優位である。しかし、1990年代以降、新興国(とくに東アジア諸国)が台頭するにあたっては、イノベーションを促進する「制度」が、国家特殊優位の中心となることが指摘されている。本発表では、半導体産業は、このような「制度(とくに投資税制)」の影響を大きく受ける産業であること、さらに、このような制度を前提としたときに、どのような競争戦略が考えられるのかを報告する。

< 講師紹介 >

立本 博文 氏

兵庫県立大学 経営学部 准教授

1998年3月 東京大学経済学部卒業
2000年3月 東京大学大学院経済学研究科博士前期課程修了
2002年9月 東京大学大学院経済学研究科博士後期課程退学
2002年10月 東京大学先端科学技術研究センター助手(2004年3月まで)
2004年4月 東京大学経済学部 COE ものづくり経営研究センター助手(2008年3月まで)
2008年5月 立命館大学イノベーション・マネジメント研究センター 客員研究員(現在に至る)
2009年4月 兵庫県立大学経営学部 准教授(現在に至る)
2009年5月 東京大学先端科学技術研究センター 客員研究員(現在に至る)
2009年10月 東京大学大学院経済学研究科経営教育研究センター 特任研究員(現在に至る)
2010年9月 MIT Sloan school of management 内 Center for digital business にて客員研究員
(2011年8月まで)

本講演会の情報および協会の活動の最新情報は、ホームページでご覧いただけます。

<http://www.ssis.or.jp>